調査データ

観光入り込み数は前年比4.2%増

2013年度の北海道（道経済部観光局まとめ）

99年超え過去最高

外国人は初の100万人突破

北海道経済部観光局のまとめによると、2013年4月～2014年3月）の北海道の観光入り込み客数（実人数）は5310万人で、前年度比4・2%増加した。算定方式の変更があるものの、1999年度の5149万人を超えて、過去最高となった。

「景気の緩やかな回復に伴い、国内外の観光需要が引き続き回復傾向にあったほか、集客力のある大規模なイベントの開催などから、4月の低温に続くゴールデンウイークの悪天候やJR北海道の事故等による特急列車の一部運休などの影響はあったが、前年度に比べ4・2%増加し、過去最高となった」（道）。

このうち道内客は4629万人で、同3・4%増。道外客は565万人で、同3・9%増。外国人は115万人で、同45・9%増と大きく伸びた。構成比は道内客87・2%、道外客10・6%、外国人2・2%。

外国人は年度として初めて100万人を超えた。「前年末から円安傾向で推移したことに加え、7月に東南アジア諸国に対する査証要件が緩和されたことや、新千歳空港～バンコク直行便が10月に週4便から毎日1便へ増便になったことなどからタイが大幅に伸びたほか、1月から2月の春節には中国をはじめ各国が増加したことなどから、前年度に比べて45・9%増加し、過去最高となった」（同）。

国・地域別では、台湾が41万人と最も多く、次いで中国が15万人となっている。伸び率が大きいのはタイで、前年度比167%増となった。主要市場のアジア地域から50・2%伸びている。

来道者数の多い主要な国・地域別の特徴は次の通り。

【台湾】旅行需要の高まりから、台北から道内各空港を結ぶ便に加え、中南部の台中や高雄からのチャーター便などが数多く運航され、座席供給量の拡大と旅行商品の多様化が図られたことや、円安による旅行商品の割安感から、過去最高を記録した昨年度をさらに更新し、48%の増加となった。

【中国】2012年9月からの日中間情勢の影響が長引き、年度前半は団体旅行を中心に低迷したが、後半は一転、チャーター便が運航されるなどプラスに転じ、通年では約55%の増加となった。

【韓国】第3四半期は、放射能汚染水の風評被害により前年度を13%下回ったが、第4四半期には持ち直し、通年では15%の増加となった。

【香港】円安傾向の継続による訪日旅行商品の割安感の定着や羽田などへのLCCの新規就航などを背景に、全四半期で増加し、通年では48%の増加となった。

【タイ】2012年7月1日から短期滞在を目的として訪日するタイ人向けの査証免除措置が開始されたほか、バンコクからの直行便機材の大型化や、10月から始まった毎日運航などから、167%の増加となった。

■　■

全道179市町村における観光入り込み客数（実数）を合計した総数（延べ人数）は1億3179万人で、前年度に比べて3・4%増加した。

また宿泊客延べ数の合計は3215万人泊で、同6・1%増加した。

圏域別の観光入り込み客数を見ると、6圏域全てが前年度から増加した。また宿泊客延べ数では、道南圏を除く5圏域が増加した。

各圏域の特徴は次の通り。

【道央圏】2013年4月は雪解けが遅く、中山峠の一時通行止めなどによる減少はあったが、11月の道央道森・大沼公園間の開通による交通アクセス向上に加え、2013年7月に函館市で開催された全国から多数のファンを集めた人気グループのコンサートをはじめとする各種イベントや江差線廃線前の乗客増などにより、JR北海道の列車事故やホテルの長期休業などがあったが増加した。

【道北圏】夏季は天候に恵まれ、2013年7月には上川町に「大雪森のガーデン」がオープンしたほか、3月の深川留萌自動車道留萌・大和田間の開通や6月の台北～旭川直行便の就航による交通アクセスの向上に加え、冬季はスキー場が好調だったことなどにより増加した。

【オホーツク圏】2012年7月にリニューアルオープンした「山の水族館」（北見市）の来場者が増加したほか、夏季には道外路線の機材大型化があったことなどから、流氷の接岸の遅れや2014年2月、3月の暴風雪の影響があったが増加した。

【十勝圏】2011年10月に開通した道東道夕張・占冠間を利用した道央圏からの流入が定着したほか、十勝ワイン生誕50周年（池田町）に関連するイベントなどにより、冬季は少雪によるスキー場のオープンの遅れはあったが微増となった。

【釧路・根室圏】2011年10月の道東道夕張・占冠間を利用した道央圏からの流入が定着したことから、6月になった知床横断道路の開通の遅れや、2月、3月の暴風雪による影響があったが増加となった。

5月以降はLCCの新規就航や、9月に札幌市で開催された全国から多数の来場者を集めたトークショーをはじめとする各種イベントがあったほか、冬季はスキー場やイベントが好調だったことなどにより増加した。

【道南圏】2012年

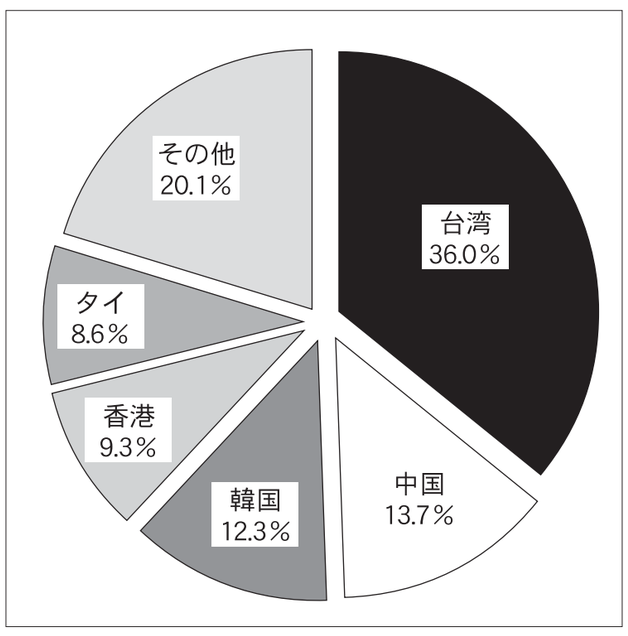
2013年度　観光入り込み客数（実人数）

区分		日帰り客（万人）	宿泊客（万人）	計（万人）	前年度比（%）	構成比（%）
第1四半期（4～6月）	道内客	1,101	235	1,335	＋8.6	90.1
	道外客	1	126	127	＋6.7	8.6
	外国人	―	20	20	＋37.0	1.3
	合計	1,102	380	1,482	＋8.7	100.0
第2四半期（7～9月）	道内客	1,531	275	1,806	＋0.8	88.3
	道外客	8	197	205	＋4.6	10.0
	外国人	―	33	33	＋43.9	1.6
	合計	1,539	506	2,045	＋1.7	100.0
第3四半期（10～12月）	道内客	454	240	695	＋4.2	82.9
	道外客	1	118	119	＋2.6	14.2
	外国人	―	24	24	＋41.4	2.9
	合計	455	383	838	＋4.9	100.0
第4四半期（1～3月）	道内客	560	233	793	＋0.8	83.9
	道外客	2	112	114	＋0.9	12.1
	外国人	―	39	39	＋56.0	4.1
	合計	562	384	945	＋2.2	100.0
合計	道内客	3,646	983	4,629	＋3.4	87.2
	道外客	12	553	565	＋3.9	10.6
	外国人	―	115	115	＋45.9	2.2
	合計	3,658	1,652	5,310	＋4.2	100.0

2013年度訪日外国人来道者数（実人数）

（単位：人）

区分		中国	韓国	台湾	タイ	合計
第1四半期（4～6月）	13年度	18,900	31,500	80,700	11,500	197,000
	12年度	23,500	26,700	49,800	3,500	143,800
	前年同期比	△19.6%	＋18.0%	＋62.0%	＋228.6%	＋37.0%
第2四半期（7～9月）	13年度	32,300	52,300	125,100	29,700	333,400
	12年度	35,400	40,900	81,000	10,200	231,700
	前年同期比	△8.8%	＋27.9%	＋54.4%	＋191.2%	＋43.9%
第3四半期（10～12月）	13年度	28,200	18,500	102,600	12,300	237,000
	12年度	15,000	21,200	72,000	3,800	167,600
	前年同期比	＋88.0%	△12.7%	＋42.5%	＋223.7%	＋41.4%
第4四半期（1～3月）	13年度	78,900	39,300	107,200	45,300	385,700
	12年度	28,300	34,800	78,000	19,500	247,300
	前年同期比	＋178.8%	＋12.9%	＋37.4%	＋132.3%	＋56.0%
合計	13年度	158,300	141,600	415,600	98,800	1,153,100
	12年度	102,200	123,600	280,800	37,000	790,400
	前年同期比	＋54.9%	＋14.6%	＋48.0%	＋167.0%	＋45.9%



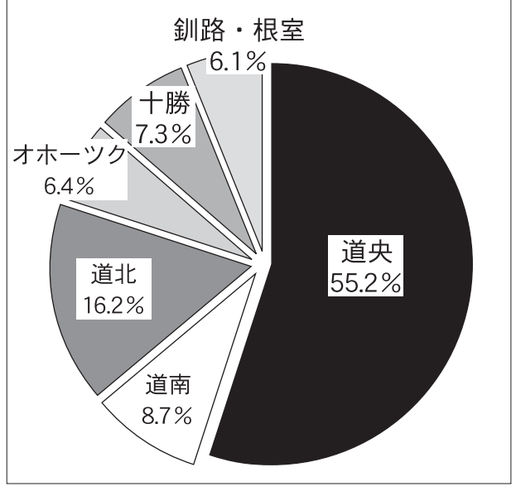
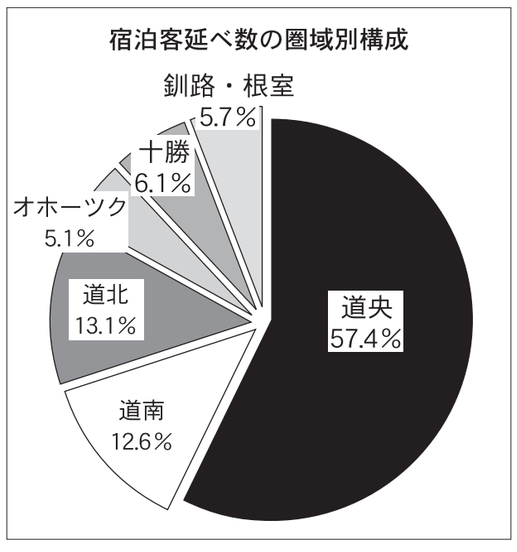
観光入り込み客数(実人数)の多い市町村

順位	市町村名	入り込み客数（万人）	前年度比（%）
1	札幌市	1,356	＋4.0
2	小樽市	711	＋7.7
3	旭川市	533	△7.5
4	千歳市	503	＋3.1
5	函館市	482	＋7.1
6	釧路市	353	＋5.7
7	登別市	332	＋16.8
8	喜茂別町	264	＋2.7
9	洞爺湖町	260	＋15.9
10	帯広市	251	＋1.0
11	上川町	203	＋12.7
12	七飯町	198	＋11.4
13	苫小牧市	184	△2.7
14	石狩市	182	＋6.0
15	富良野市	177	△0.6
16	白老町	175	＋3.0
17	伊達市	172	＋16.7
18	壮瞥町	168	＋10.5
19	北見市	159	＋9.0
20	ニセコ町	157	＋11.2

宿泊客延べ数の多い市町村

順位	市町村名	宿泊客延べ数（万人泊）	前年度比（%）
1	札幌市	1,090	＋8.3
2	函館市	353	＋1.5
3	登別市	121	＋9.9
4	釧路市	120	＋3.7
5	帯広市	97	＋1.5
6	倶知安町	89	＋2.2
7	小樽市	75	＋6.2
8	上川町	73	＋7.6
9	旭川市	69	＋9.2
10	富良野市	68	＋9.2
11	洞爺湖町	57	＋15.9
12	ニセコ町	54	＋20.5
13	北見市	52	＋5.8
14	斜里町	45	△2.1
15	網走市	45	△0.6
16	音更町	44	△3.0
17	稚内市	40	△3.1
18	留寿都村	38	＋6.1
19	占冠村	36	＋14.1
20	室蘭市	29	△0.1

観光入り込み客数（延べ人数）の圏域別構成



宿泊客延べ数の圏域別構成